

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 7 部門第 1 区分  
【発行日】令和 5 年 3 月 17 日(2023.3.17)

【公開番号】特開 2022-69457(P2022-69457A)  
【公開日】令和 4 年 5 月 11 日(2022.5.11)  
【年通号数】公開公報(特許)2022-082  
【出願番号】特願 2022-21049(P2022-21049)  
【国際特許分類】

H 0 1 R 1 1 / 0 1 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

10

H 0 1 B 1 / 2 2 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

H 0 1 B 5 / 1 6 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

【 F I 】

H 0 1 R 1 1 / 0 1 5 0 1 C

H 0 1 B 1 / 2 2 B

H 0 1 B 5 / 1 6

【手続補正書】

【提出日】令和 5 年 3 月 9 日(2023.3.9)

【手続補正 1】

20

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

絶縁性樹脂バインダに導電粒子が配置された異方性導電フィルムであって、  
平面視にて、複数の導電粒子の中心を順次結んで形成される多角形の繰り返しユニット  
が繰り返し配置されており、  
正 3 角形を隙間無く並べた場合の正 3 角形の頂点と繰り返しユニットを構成する導電粒子  
が重なる配置となり、  
繰り返し配置された繰り返しユニットの間に導電粒子が配置されていない上記正 3 角形の  
領域が一つ以上存在し、

30

繰り返しユニットの多角形が、異方性導電フィルムの長手方向又は短手方向と斜交した  
辺を有し、

繰り返しユニット間に、単独の導電粒子もしくは別個の繰り返しユニットが配置されてい  
る異方性導電フィルム。

【請求項 2】

繰り返しユニットが異方性導電フィルムの一面に配置されている請求項 1 記載の異方性  
導電フィルム。

40

【請求項 3】

繰り返しユニットが台形である請求項 1 又は 2 記載の異方性導電フィルム。

【請求項 4】

繰り返しユニットをなす多角形の各辺が異方性導電フィルムの長手方向又は短手方向と  
斜交している請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載の異方性導電フィルム。

【請求項 5】

繰り返しユニットをなす多角形が、異方性導電フィルムの長手方向又は短手方向の辺を  
有する請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載の異方性導電フィルム。

【請求項 6】

繰り返しユニットを構成する多角形を、該多角形の一辺を中心として反転させた場合に

50

、反転後の繰り返しユニットの多角形の一辺が、反転前に隣接していた繰り返しユニットの一辺と重なる請求項 1 ～ 5 のいずれかに記載の異方性導電フィルム。

【請求項 7】

導電粒子ユニットが正多角形の一部をなす請求項 1 ～ 6 のいずれかに記載の異方性導電フィルム。

【請求項 8】

導電粒子ユニットを構成する導電粒子の配置が、正六角形を隙間無く並べた場合の六角形の頂点と重なる請求項 1 ～ 5 のいずれかに記載の異方性導電フィルム。

【請求項 9】

更に絶縁性接着層が積層されている請求項 1 ～ 8 のいずれかに記載の異方性導電フィルム 10

—

【請求項 10】

前記繰り返しユニットは、異方性導電フィルムを平面視したときに、縦方向と横方向のそれぞれに繰り返されている請求項 1 ～ 9 のいずれかに記載の異方性導電フィルム。

【請求項 11】

該縦方向又は横方向もしくは両方向で、繰り返しユニット間の最短距離は、繰り返しユニット内における隣接導電粒子間距離よりも長い請求項 10 記載の異方性導電フィルム。

【請求項 12】

請求項 1 ～ 11 のいずれかに記載の異方性導電フィルムにより第 1 電子部品と第 2 電子部品が異方性導電接続されている接続構造体。 20

【請求項 13】

第 1 電子部品と第 2 電子部品を異方性導電フィルムを介して熱圧着することにより第 1 電子部品と第 2 電子部品の接続構造体を製造する方法であって、異方性導電フィルムとして、請求項 1 ～ 11 のいずれかに記載の異方性導電フィルムを使用する接続構造体の製造方法。

30

40

50